

(3)生活支援体制整備事業の推進(市受託事業)

①協議体の開催

・全体会の開催

日時・会場	内容	参加者
令和3年3月3日(水) 13:30~15:00 山田ふれあいハウス会議室	第1部 「コロナ禍における地域の繋がりづくり」 講師 あそび工房もくもく屋 事務局長 田川雅規さん 第2部 協議体代表者意見交換会	参加者13名 (市民4名、リモート参加 嘉麻市役所高齢者介護課9名)

・なつきちゃんにし(稲築西校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月16日(木) 13:30~15:00 保健センター	・コロナ禍での地域活動について ・災害時の対応について ・見守りの仕組みづくりについて ・今後の協議体について	参加者6名 (市民等4名、高齢者介護課2名)
第2回	令和2年8月20日(木) 13:30~14:30 漆生中央公民館	・協議体とは ・前回の振り返り ・漆生中央行政区について	参加者5名 (市民等3名、高齢者介護課2名)
第3回	令和2年9月17日(木) 13:30~15:00 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・災害時の見守りの仕組みづくりについて	参加者7名 (市民等4名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第4回	令和2年10月15日(木) 13:30~14:30 保健センター	・前回の振り返り ・地域の社会資源や課題について	参加者7名 (市民等3名、社会福祉課2名、高齢者介護課2名)
第5回	令和2年11月19日(木) 13:30~15:00 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・地域づくりのあり方について	参加者6名 (市民等4名、高齢者介護課2名)
第6回	令和2年12月17日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・見守りの仕組みづくりについて ・今後の協議体について	参加者4名 (市民等2名、高齢者介護課2名)

・なつきちゃんにしの活動状況及び課題

6回開催し延べ35人が参加した。稲穂園と連携して行っている買い物支援は、コロナ禍のため中止となった。コロナ禍で、不特定多数で集まることは難しいため、見守り活動の展開を目指したいとの声が上がったため、見守り活動を行っている方の話を聞き、仕組みづくりを模索することとなった。

・なつきちゃんひがし(稲築東校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月16日(木) 10:00~11:00 鴨生北町公民館	・協議体とは ・昨年度の振り返り ・鴨生北町行政区について	参加者8名 (市民等5名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第2回	令和2年8月20日(木) 10:00~11:00 鴨生第二公民館	・昨年度の振り返り ・通常時とコロナ禍での地域活動について	参加者6名 (市民等4名、高齢者介護課2名)
第3回	令和2年9月17日(木) 10:00~11:30 銭代坊公民館	・前回・昨年度の振り返り ・協議体とは ・コロナ禍での地域活動について ・災害時の心配ごとについて	参加者10名 (市民等8名、高齢者介護課2名)
第4回	令和2年10月15日(木) 10:00~12:00 平東公民館	・前回の振り返り ・災害時、平常時の見守りについて	参加者10名 (市民等5名、在宅介護支援センター1名、社会福祉課2名、高齢者介護課2名)
第5回	令和2年11月19日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・前回・昨年度の振り返り ・災害時の声かけについて	参加者7名 (市民等4名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第6回	令和2年12月17日(木) 10:00~11:33 枝坂公民館	・前回・昨年度の振り返り ・多世代が交流できる居場所づくりについて	参加者14名 (市民等11名、高齢者介護課3名)

・なつきちゃんひがしの活動状況及び課題

6回開催し延べ55人が参加した。各行政区の公民館を回り、コロナ禍での地域活動について話を聞いた。鴨生第二行政区の自主防災組織の取り組みの中に、住民と一緒に危険箇所を回り、要配慮者マップを作る予定であるため、稲築東校区に広げたいと考えている。

・嘉麻い隊うすい(碓井校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月17日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・昨年度の振り返り ・コロナ禍での地域活動について ・地域で気になること・人	参加者7名 (市民等5名、高齢者介護課2名)

第2回	令和2年8月21日(金) 13:30~14:30 碓井地区公民館	・前回の振り返り・下臼井東行政区での地域活動について ・地域で気になることや人について ・今後の協議体について	参加者 4名 (市民等 2名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和2年9月18日(金) 13:30~15:00 上臼井公民館	・前回の振り返り ・上臼井行政区について(地域活動・災害) ・地域で気になること・人	参加者 3名 (市民等 2名、高齢者介護課 1名)
第4回	令和2年10月16日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・前回の振り返り ・飯田行政区について ・地域で気になること・人	参加者 9名 (市民等 5名、社会福祉課 3名 高齢者介護課 1名)
第5回	令和2年11月20日(金) 13:30~15:00 昭嘉公民館	・前回の振り返り ・コロナ禍の地域活動について ・市バスの利便性について	参加者 12名 (市民等 11名、高齢者介護課 1名)
第6回	令和2年12月18日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・前回の振り返り ・コロナ禍での地域活動について ・今後の活動について	参加者 7名 (市民等 6名、高齢者介護課 1名)

・嘉麻い隊うすいの活動状況及び課題

6回開催し延べ42人が参加した。コロナ禍の影響で、福祉施設の職員が参加することができず、支えあいの仕組みづくりについて話し合うことはできなかった。どこの行政区もコロナ禍で地域の集まりがなくなり、高齢者の一人暮らしの方が自宅中心の生活を送っているのではないかと不安の声が聞かれた。他の地区が取り組んでいるラジオ体操を紹介したところ、笹原行政区でやってみたいとの声も聞かれたため、来年度取り組んでいく予定である。

・あつとふるやまだ(山田校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月28日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・コロナ禍での地域活動を聞き取り ・市バスについて ・今後の協議体について	7名 (市民等5名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課1名)
第2回	令和2年8月25日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・市バスの利便性を確認(2人1組のグループに分かれて時刻表で目的地までの行き方を調べる) ・小さな拠点づくりについて	9名 (市民等7名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課1名)
第3回	令和2年9月29日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・市バスの利便性を確認(前回調べたことを発表) ・小さな拠点づくりについて	7名 (市民等5名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課1名)
第4回	令和2年10月27日(火) 13:30~14:45 白馬ホール	・今までの振り返り ・地域の課題を整理	10名 (市民等6名、在宅介護支援センター1名、社会福祉課2名、高齢者介護課1名)
第5回	令和2年11月24日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・市バスの調査に向けて	9名 (市民等6名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第6回	令和2年12月22日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・市バスの調査に向けて	7名 (市民等5名、高齢者介護課2名)

・あつとふるやまだの活動状況及び課題

6回開催し延べ49人が参加した。買い物や通院を想定し、市バスの時刻表を見ながら出発時間を決め、バスに乗って調査する予定だったが、2度目の緊急事態宣言発出により実施できず、次年度に延期した。時刻表を調べるなかで、ページを何度もめくらなければならず、高齢者にはわかりにくいのではないかと気づきがあったため、乗り継ぎが必要な行政区の集会所から発出する時刻表を作成することにした。

・嘉穂ますます会(嘉穂校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月20日(月) 10:00~11:00 下牛隈公民館	・昨年度の振り返り・コロナ禍での地域活動について ・市バスの利便性について・地域で気になること・人	参加者 10名 (市民等 9名、高齢者介護課 1名)
第2回	令和2年8月24日(月) 13:30~14:30 足白公民館	・前回の振り返り・協議体とは ・足白行政区について・移動手段について ・ちょっとした困りごとについて	参加者 12名 (市民等 12名)
第3回	令和2年9月14日(月) 13:30~14:30	・災害時の対応について ・移動手段について	参加者 8名 (市民等 7名、高齢者介護課 1名)

	夢サイトかほ	・ちょっとした困りごとについて	
第4回	令和2年10月19日(月) 13:30～15:00 旧宮野小学校	・今までの振り返り ・嘉穂校区の社会資源について ・移動手段の利便性の調査に向けて	参加者 15名 (市民等 13名、社会福祉課 2名)
第5回	令和2年11月16日(月) 13:30～14:30 千手いこいの家	・移動手段の利便性の調査に向けて	参加者 12名 (市民等 11名、在宅介護支援センター 1名)
第6回	令和2年12月21日(月) 10:00～11:00 下牛隈公民館	・移動手段の利便性の調査に向けて ・地域で気になること・人	参加者 11名 (市民等 11名)

・嘉穂まます会の活動状況及び課題

6回開催し延べ68人が参加した。他校区に先駆けて、デマンド型の市バスが運行されたが、枝線が減り、フリー昇降もなくなったことから、移動手段に不安な声が多く聞かれた。協議体のメンバーは自分で車を運転して移動していることから、市バスやデマンド型運行バスのイメージがつきにくい  
ため調査について話し合ったが、令和3年度から市バスのルートや時刻表が変わることから、調査については再検討する必要があると考えている。

また、嘉穂地区でも孤立死が増えているとの話もあり、隣近所の声かけやちょっとした変化への気づきが大事だということ共有し、地域の見守りに  
ついて話し合うことになった。

②出張相談窓口の開設

協議体の開催に合わせて、出張相談窓口を開設したが、個別相談はなかった。